

平成25年5月18日(土)

建設工業新聞



13年度の事業計画などを決定した総会

石川県宅建物取引業協会(吉本重昭会長)は17日、金沢市本町のホテル日航金沢で13年度定時総会を開催した。同協会は、45年の歴史を経て4

良質な住環境形成に寄与

石川県宅建協会が総会

公益社団法人に

月から公益社団法人に移行。新たな第一歩を踏み出したとあって、今後もより良い住環境の形成を目指す。宅建物取引業界のさらなる発展に寄与する方針だ。

総会の冒頭、吉本会長があいさつで「公益社団法人への移行は皆さんの協力あればこそ」などと話し、会員や関係者への感謝の意を表した。その上で会員の増強や支援体制の強化に尽力していく姿勢を強調した。

引き続き、谷本正憲石川県知事の代理で奥土木部次長の畝本秀一氏、山野之義金沢市長の代理で市都市整備局定住促進部長の荒木信博氏、同協会顧問で石川県会議員の紐野義昭氏が来賓として「協会の発展を祈念する」と祝辞を述べた。

13年度事業計画では、一般消費者への不動産知識の普及を狙いに「不動産の日」ふれ愛講演会(9月23日)の開催などを決めた。

宅業界に貢献した会員の顕彰や永年会員の表彰も執り行われた。

13年度の事業計画などを決定した総会